

6. 学術情報センター

学術情報センター長 兼平 千裕 (放射線医学) (平成19年4月より)
同 図書館国領分館長 茅島 江子 (母性看護学) (平成22年4月より)

1) 平成23年度統計 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 図書館

① 蔵書冊数	256,403冊
② 現在受入雑誌数	976種 (和768種、洋208種)
③ 電子ジャーナル提供数	約6,275種
④ 館外貸出冊数	12,564冊
⑤ 他学との文献相互貸借数	貸出4,660件 借受3,876件
⑥ 複写サービス	486,907枚
⑦ 情報検索サービス	77,258件 (代行とセルフサービスの合計)

(2) 国領分館

① 蔵書冊数	82,508冊
② 現在受入雑誌数	383種 (和331種、洋52種)
③ 館外貸出冊数	8,664冊 (視聴覚資料含む)

(3) 標本館

① 標本数	マクロ標本	1,620点
	顕微鏡標本	2,549点
② 視聴覚資料	ビデオ・プログラム	1,798セット
	スライド・プログラム	601セット
	16mmフィルム	37セット
	コンピュータ・ソフトウェア	61セット
	語学プログラム	204セット
	その他	79セット

(4) 史料室

見学者数160名 (学内17名、学外143名)

(5) 写真室

① 撮影・スライド作成	58件(1,977枚)
② レントゲンフィルム複製	254件(1,862枚)
③ ビデオ編集	45件(114.5時間)
④ カラープリント出力 (ポスター作成含む)	315件(2,160枚)
⑤ 35mmスライドのデジタル化	42件(2,155枚)

2) 主な事項

(1) 医学部学生演習

医学科1年生・2年生の「医学総論」、医学科3年生・4年生の「医療情報：EBMコース」、看護学科3年生の「研究方法論：文献検索実習」での情報検索演習、看護学科1年生の図書館オリエンテーションを担当した。

(2) ネットワークを介した情報提供

電子ジャーナルと医学関連データベースをネットワーク経由で利用できる環境を維持した。データベースに新規データが追加された際に電子メールにて通知するサービス(AutoAlertサービス)を、引き続き実施している。また、新聞4紙から医療および大学関係の記事の見出しを学内に電子メールで配信するサービスも継続した。

(3) 学術リポジトリの構築

学内の学術成果物を電子的に蓄積し、インターネット上に公開するためのシステムであ

- る学術リポジトリの運用を担当している。東京慈恵会医科大学雑誌、Jikeikai Medical Journal、教育・研究年報、Research Activitiesの最新の内容を登録し、インターネット経由で参照できるようにした。
- (4) 『東京慈恵会医科大学教育・研究年報2010（第30号）』および『Research Activities 2010』の編集
両年報の原稿を大学ネットワーク経由で収集し、編集・出版の作業を担当した。
- (5) 教員評価システム管理委員会への参加
教員評価システムの業績データ入力機能の管理を担当し、学内教職員を対象とした入力方法の説明会を3回実施した。関連して、研究開発支援総合ディレクトリ（ReaD）の学内管理者を担当し、ReaDへのデータ登録に関する学内からの問い合わせに対応した。
- (6) 医学論文書きかた講習会の開催
Jikeikai Medical Journal編集委員会と東京慈恵会医科大学雑誌編集委員会の共催による以下の講習会の開催を担当した。これらの講習会は大学院共通カリキュラムの必須科目「医学研究概論」の授業を兼ねている。
- ・「実験科学研究における論文執筆過程」（4月28日）
（山本俊彦教授・薬理学講座）
 - ・「Natureセミナー」（5月10日）
（中村康一氏・NPGネイチャー アジア・パシフィック 専務取締役、堀内典明氏・Nature Photonics誌 Associate Editor）
 - ・「How to prepare and present your research paper」（5月17日）
（小原平教授、Mark Alder講師・英語研究室）
 - ・「Common Pitfalls for Japanese Medical Writers」（5月24日）
（岡崎真雄准教授・学術情報センター）
（開催時間は、いずれも18時～19時30分）
- (7) 教材・研究資料の作成支援
学内教職員・学生、同窓生を対象に、静止画・動画の撮影、アナログ・デジタル写真の加工、ポスター作成、ビデオ編集、35mmスライドのデジタル化（パワーポイントファイルへの変換）の各サービスを実施した。
- (8) レントゲンフィルムの複製
教育・研究用、病院保管用の資料作成、他病院・関連機関への情報提供のためのレントゲンフィルム複製の業務を担当した。
- (9) 広報活動支援業務
学内行事の撮影、および各種広報用画像データの保管・提供を担当した。
- (10) 情報技術支援業務
学事課・システム課・教育センターの職員との協力による情報技術支援業務（テレビ会議等）を継続担当した。
- (11) リモートアクセスサービスの開始
大学ネットワーク上で利用可能となっている電子ジャーナルおよびデータベースを学外（自宅や派遣先）からアクセスするためのサービスである「リモートアクセスサービス」（平成21年度開始）を継続した。利用登録者は、平成23年度末現在で1,090人に達した。
- (12) 「東京慈恵会医科大学創立130年記念誌編集委員会」への参加
「東京慈恵会医科大学130年史（平成23年度発行）」の編集・校正、掲載写真の用意、配付に関する作業、また関連して、学内でのパネル展示等の作業を担当した。